

## 小売と流通

令和6年9月18日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

IT システムとビックデータにおける小売店の新しい構築は、自動化における人件費の削減と製品価格における低利益率の設定において、新規小売システムへの転換とそれに伴い大きな需要と高い利益性への転換を提示する。

また流通と卸などにおける製品データの管理は、全ての製品管理を自動化し、企業システムの構築において高い生産性への転換を模索するものである。

またインターネットの活用を配送サービスの整備は、自社製品の消費者宅への配送と WEB カタログからの受注など新規に需要の拡大を提案できるものである。

これらは大幅な IT 化とシステムへの移行における高い生産性と人件費の削減における企業の自動化の構築であり、それに伴う高い利益性への転換は、製品価格の低減とともにさらなる需要の拡大を提案できるものである。

これらは可能な自動化をビックデータの製品、顧客、卸の管理とともに、実現することであり、これらは企業経営が IT システムにおいて総括されることを意味するものである。

オンタイムにおける卸からの製品の納品や、製品の補充などにおける IT システムにおける自動化、また、製品データの管理など、売上の分析とともに提示適切に製品の補充や投入を実現できるのである。

また WEB メールにおける特売やディスカウントチケットの送付など、会員サービスの拡大は顧客の囲い込みを実現できるのである。

これらは遥かに想像に勝る効率化と生産性の拡大、コストの削減を実現できることにおいて、明確に判断を行うことができるのである。

これら今日における IT 革命は、その実用性の拡大と生産性の飛躍的な向上において決して否定できないのである。